

大阪府道路公社の管理路線



有料道路事業については、国又は地方公共団体が道路を整備するに当たり、財源不足を補う方法として借入金を用い、完成した道路から通行料金を徴収してその返済に充てるという制度です。

また、箕面有料道路において、通行料金割引社会実験を行うことにより、箕面森町事業の保留地販売促進など地域の活性化とともに、平行する国道423号をはじめ、周辺道路からの交通転換により地域の交通環境の改善を図っています。

| 路線名 | 延長 (km) | 事業費 (億円) | 交通量 ^{*1} (台/日) | 料金 ^{*2} (円) | 供用年月 |
|---------|---------------|----------|-------------------------|----------------------|---------|
| 鳥飼仁和寺大橋 | 0.7 | 102 | 11,365 | 100 | 昭和62年2月 |
| 堺泉北 | 4.7 | 208 | 42,430 | 100 | 平成3年3月 |
| 第二阪奈 | 13.4 局域3.8 | 2,336 | 34,784 | 600 (西石切～巻分) | 平成9年4月 |
| 南阪奈 | 4.6 | 647 | 24,248 | 200 | 平成16年3月 |
| 箕面 | 6.8 | 500 | 5,343 | 600 | 平成19年5月 |

※1 平成21年度、※2 普通車料金

【箕面有料道路社会実験(平成21年7月20日～)】

普通車 600円⇒400円 軽自動車 500円⇒350円

平成22年度平均交通量 : 約5,300台/日

平成23年度平均交通量 : 約5,700台/日 (約1割増加)

大阪モノレール

大阪都市圏は、大阪市を中心として発展し、鉄道網も放射状に形成されており、一点集中型の都市構造となっていることから、大阪市都心部では交通の過度の集中による弊害が生じています。また、大阪市周辺部では市街地の拡大により、既存鉄道のサービスを受けられない地域も生じておりました。

これらの課題に対応するため、各方面にわたる調査検討を行った結果、放射状に広がっている既存鉄道を環状方向に有機的に結節し、ネットワークを強化する新たな公共交通機関として、昭和57年度よりモノレールの整備を進めています。

大阪(環状)モノレールは、大阪空港～門真市間(約21.7km)が開業しており、阪急京都線、千里線及び宝塚線、北大阪急行線、地下鉄谷町線、京阪本線と連絡しております。また、彩都(国際文化公園都市)への主要なアクセスである国際文化公園都市モノレールは、平成10年10月1日に万博記念公園～阪大病院前間(約2.6km)、平成19年3月に阪大病院前～彩都西間(約4.3km)が完成したことにより、現在、全線約28.6kmが開通しております。(平成22年度の1日平均乗降客数: 豊川 1,997人、彩都西 4,863人)



大阪モノレール路線図

